



みどり

12月号
令和元年11月29日
調布市立緑ヶ丘小学校
校長 鳥居 圭

E-mail
midorigaoka-sho@chofu-schools.jp

「この内なる世界は、もしかしたら宇宙より大きいかもしれない」

校長 鳥居 圭

いよいよ冬本番、木々の葉の紅葉の美しさとともに、落ち葉も目立ち始めました。また、朝晩の寒さが少しずつ増し、本格的な冬が来ていることを感じさせる今日この頃です。しかし、そんな気温の低さを感じさせないほど、たくさんの児童が学校や学級の仲間と元気に学校生活を送っています。

さて、11月15・16日に実施しました展覧会には、多くの皆様方にお越しいただきました。そして、お帰りの際に児童の作品も含め、いろいろ褒めていただきました。教職員一同、今後の指導の大きな励みになります。ありがとうございました。

今年のテーマは「こどもの森 ワクワクミドリミュージアム」でした。児童がのびのびと自分の思いを表現し、わくわくするような作品に仕上げしてほしいという思いがこもった表題でしたが、いかがでしたでしょうか。お家に帰って、お子さんと自慢の作品についてお話していただけたでしょうか。家や学校で自分の思いを表現するのにぴったりの素材を見つけたときのわくわく、思いもかけない色や形の組み合わせを発見したときの喜び、自分の思いをしっかりと表現できたときの充実感など、児童はいつも目を輝かせながら作品作りに取り組んでいました。一人一人の個性が開花した、のびのびとした作品ばかりです。

また、作品の鑑賞を通して見ることの楽しさ、見てもらうことの喜びも感じられたことと思います。作品の表現を通じた作り手の思いを受け止める機会であるとともに、自分の作品のよさを紹介するなど、互いのよさや素敵などところを伝え合う場であってほしいと思います。

学校は一人一人が安心して自分を表現できる場所であり、仲間のよさに気付いたり認められたりする経験を通して自分に自信をもち、自分も他の人も大切にできる心を育てていくことのできる場所でありつづけていきたいと考えています。



緑ヶ丘小の児童たち自身も一人として同じ子ではなく、すべての子それぞれに、素敵どころ、輝くところがあります。12月4日からは人権週間キャンペーンも始まります。日常的に共通性と多様性を意識しつつ、児童一人一人がよさを発揮し、そしてお互いのよさを感じ合いながら成長していけるよう、教職員一同力を合わせて指導してまいります。今後とも御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

5年生 ハヶ岳 特集号

5年生のテーマ「レッツGO」。「礼儀を大切に、つながり強く、学校のために働き、大きな一歩を踏み出そう。」このテーマに向かって、日々の学校生活はもとより委員会活動や学校行事を通して大きく成長してきました。そしてハヶ岳移動教室を経て、また一段と成長した5年生です。移動教室中の子供たちの活動の様子をご紹介します。

【南牧村文化施設】

・プラネタリウムで、星を見たり、星の説明を聞いたりして、きれいだったので心に残りました。

【野辺山宇宙電波観測所】

・大きなアンテナで驚きました。展望台から見た観測所も迫力満点でした。



【獅子岩】

- ・獅子岩が獅子に本当に似ていたし、輝石も黒く光っていて、たくさん拾えて、いいお土産になりました。
- ・輝石拾いが、ロッククライミングみたいで、のぼるのが楽しかったです。
- ・最初は輝石がまったく見つからなかったけれど、最後は大きな輝石がたくさん見つかってうれしかったです。

【キャンプファイヤー】

- ・みんなで協力して場を盛り上げることができてよかったです。
- ・みんなが「楽しかった。」と言ってくれたので、嬉しかったです。
- ・みんなで踊ったのが面白かったです。早く踊ったりゆっくり踊ったり、曲に合わせて頑張りました。



【滝沢牧場】

(乳しぼり体験)

・乳しぼりで、牛の乳が生あたたかかったです。

(乗馬体験)

・チーズはさっぱりとした味でした。バターは振っても振ってもなかなか出来上がらなくてびっくりしました。

(えさやり)

・牛の首をさわったとき、「タプタプ」していて、とても気持ちよかったです。

・小動物のえさやりでペロペロなめてくれてかわいかったです。

(ソフトクリーム)

・係の人が「落ちやすいよ!」と言った通り、食べてみると本当に濃厚で落としやすいなあと感じました。

・滝沢牧場でソフトクリームがふつうよりもおいしくて大切な体験をしたと思いました。



【ウッドチップトレイル】

・行動班で協力してクイズの答えを導き出しつつ、絶景や素敵な自然が見られてとても楽しかったです。



【ナイトハイク】

・東京とは違う静かな自然の中で、耳をすませて自然の音を聞いたり、美しい星空を眺めたりしたのが心に残りました。

・調布では星が10こぐらいしか見られないのに、ハヶ岳では、上を見渡せば100こ以上ありました。教科書では、見たことのある星でも本当に見ればきれいでした。

・初めは寒かったけれど、途中から「星・自然がきれい」「自然のにおいがいい」「自然のあたたかみが気持ちいい」などで、寒さが体から吹っ飛んでいきました。

【ほうとう作り】

・班のみんなで作ったほうとうで、その時の寒さも和らぎ、とてもおいしかったです。

・きじを伸ばすところがいちばん大変でした。

・ほうとう作りで、行動班のみんなが笑顔で作ったことでより仲が深まったと思います。



1 2月行事予定

日	曜日	行事予定 () は当該学年です
1	日	
2	月	クラブ活動、いのちと心の教育月間
3	火	安全指導
4	水	
5	木	保護者会 (1～3年)
6	金	連合音楽会 (5年) 保護者会 (4～6年)
7	土	フラバール大会
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	避難訓練
12	木	
13	金	ミドリランニング終
14	土	学校公開、道徳授業地区公開講座
15	日	
16	月	
17	火	ミドリタイム
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	お弁当終、大掃除
25	水	終業式
26	木	冬季休業日 (1月7日まで)

調布市いのちと心の教育月間

調布市では、生命尊重を基盤とした教育活動の充実を図るため、特に12月を「いのちと心の教育月間」と定めて、自他の生命 (いのち) を大切にする教育活動を行います。

本校では、日頃より一人一人を認め合う学級指導を行っていますが、12月14日の学校公開では、「いのちの尊さや一人一人がかけがえない大切な存在であること」を学ぶ学習の授業公開を実施いたします。ぜひ、ご参観いただきたいと思えます。なお、その後下記のとおり地域の方々、保護者の皆様に向けた講演会を視聴覚室で行います。ぜひご参加ください。

記

テーマ『知っているだけで楽になる！

家族にあったお片付け』

講師 ライフオーガナイザー 植田 洋子 氏

3学期始業式についてのお知らせ

1月 8日(水) 始業式

持ち物：あゆみ、上履き、連絡帳、筆記用具、防災頭巾など

1月 9日(木) 給食開始



* 12月の生活目標 *

『相手を思いやって生活しよう』

12月10日「世界人権デー」に合わせ、日本では12月4日から12月10日までを「人権週間」としています。令和元年度の「第71回人権週間」の啓発活動重点目標は「みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～」となっています。各県や自治体ではそれに合わせ様々な取り組みを行っています。調布市のいのちと心の教育月間の取り組みと共に、本校では児童の発達の段階に応じて各学級で「生命尊重」に関する授業 (道徳や学級活動など) を行います。

世界中で「人権尊重」が訴えられ続け、「人権尊重教育の推進」が東京都の教育課題であるとも言われています。それらは裏返すと、人権を尊重されていない人がいるということを証明しているように思われます。「人権 (または人権侵害)」のことを学ぶことにより、自分自身を大切にするとともに、他の人の立場に立って、その人の気持ちを考えることができる、そんな子供たちを育てたいと考えます。そこで、12月の生活目標を「相手を思いやって生活しよう」と設定し、上記の取り組みを通して「人権」について考えていけるようにしたいと思います。